



2023.9.29

@三重大学生物資源学部

共生環境学特別講義Ⅶ

溝口勝

東京大学

大学院農学生命科学研究科

農学国際専攻 国際情報農学研究室



2023.9.29
@三重大学生物資源学部

国際農業と文化



溝口勝
大学院農学生命科学研究科
農学国際専攻



この講義の概要

- 目標

- 発展途上国の農業が、どのような社会的・生態的制約の下にあるかを理解する。
- 農業生産に関して追求すべき研究課題を見出す。

- キーワード

- 農作物、農民、農村

- 授業の方法

- 発展途上国の自然、社会、農業について、各専門分野の教員が講義を行う。
- 講義でカバーした研究課題について、教員が学生とともに討議を行う。

文明と文化

～司馬遼太郎的解釈～

- 人間は群れてしか生存できない。その集団を支えているものが、文化と文明である。いずれも暮らしを秩序づけ、かつ安らがせている。
- 文明とは
 - 『たれもが参加できる普遍的なもの・合理的なもの・機能的なもの』をさすのに対し、
- 文化は
 - むしろ不条理なものであり、特定の集団（たとえば民族）においてのみ通用する特殊なもので他には及ぼしがたい。つまりは普遍的でない。



ツンドラの調査(1998.8)

現場写真集



アラスの調査(2000.7)





インドネシア



焼畑調査 (2007.10.6)

森林土壌の透水性



インドネシア

SRIとの出会い (2006.10)



東北タイにおける 持続可能な農業のあり方



農民は畦をタイミングよく崩しながら、
溜池の水を上手に使っている

不耕起SRI

穴塚(茨城県)

2016.6.12



タイ・インドネシア海外実習 (2011.10)



2009.10 東北タイ実習



タイ・チェンマイ (2007.12)



Connecting Farm with Table (2008)

Monitor and the cube (Media Top) is set at University Cafeteria to introduce “Spinach made in Chang Mai, Thailand.”



国境(タイー中国)にて (2010.3.7)



ラオス(2010.10)



アカ族の村調査
(2010.10.9)



子守るアカ族の女の子たち
(2010.10.9)

ラオス (2010.10)

SRI水田に関する聞き取り調査



ベトナム・ハノイ北部 (2008.12)



チュニジアでの設置作業 (2010.1.7)



「国際農業と文化」を考えるヒント

- 日本の貢献
 - なぜ国際協力が必要なのか？
- 日本の技術力
 - 日本／自分に何ができるのか？
- 現地に対する理解
 - 現場のニーズは何か？
 - 生活・慣習・文化
- カウンターパート
 - 現地に信用できる友人はいるか？



NGOなどのボランティアとの
協力も同じ

日本の農業戦略

- 日本の農業技術は高い！
 - 量より質
 - 気候変動に適応した食料の安定的生産
 - ジャストインタイム農業
- 日本の食料戦略
 - 世界の持続的な農業生産
 - 日本だけで自給できるわけではなく、世界を支えることが日本を支えることになる
 - 東南アジアとの連携

この講義からヒントを見つけてほしい